

日本保育史研究 ～季節保育所の歴史的意義について～

子ども学科 高田 文子

子ども学科 松本 園子

教育・福祉研究センター嘱託研究員 矢治 夕起

1. 日本の保育史研究会の目的

本研究会は、助成研究の対象となる1年ほど前（2012年5月）からスタートし、2013年度も含めると13回の検討会を重ねてきた。各会とも、保育の通史を概観した先行研究書である『日本の保育』（一番ヶ瀬康子他著、ドメス出版、1962年）を切り口としながら、出版後50年間の学問的蓄積を加味した批判的検討と課題の整理を試みた。この半世紀の間に歴史研究は保育についても法制度、思想、カリキュラム、実践などの各領域にわたって細分化した個別研究の方向性を志向してきたが、その知見を総合的に束ねた文献は公刊されていない。本研究会では、前掲書出版後の歴史研究の成果を俯瞰する段階にきていると判断し、刷新・蓄積された知見の整理・総括を目的として研究活動を進めている。

2. 季節保育所に関する史料（資料）収集と歴史の変遷の検討の意義

如上の作業の一端として、今年度は季節保育所に関する情報収集を進めた。この分野については、先行研究として戦前の農繁期託児所から概観したへき地保育研究（京都、群馬）、戦時下保育運動における農繁期託児所研究が存在するが、北海道において現在も多く点在する季節保育所については情報が不足しており、その地域的特性と現在に至る歴史的意義については明らかにされていない。

3. 旭川市あすか季節保育所

旭川市の季節保育所9カ所のうち、昭和36年

設立のあすか保育所を訪問（2013年9月17日）

し、所長の矢萩春子氏に設立の経緯、変遷、保育概要などをうかがった。

昭和36年に地区会館の新設を機に、青年部員が農繁期の幼児の安全管理を目的に保育所を開始、その後旭川市が旭川保育協会に委託して管理運営が行われている。平成14年に、2カ所の保育所統合により現在の「旭川市立あすか保育所」として新築再スタート。農業の機械化と保育の質的向上・充実、ニーズの多様化に対応する保育行政の問題、純農村地域の園児減少と周辺住宅地の人口増加による入所希望者の増加など、設立当初の主目的から変容してきた経緯を聞き取ることができた。

4. 旭川保育協会

2013年9月18日、旭川保育協会事務局長山川勝氏より旭川市内の保育所の歴史と現状、市立へき地、季節保育所について聞き取りを実施した。

1) 旭川市立へき地保育所

へき地保育所は6ヶ所（1ヶ所休止中）あるが、いずれも10名以下と小規模なので、国からの補助はなく、旭川市からの補助金のみで運営されている。

以下設立地、年月日

豊里保育所

旭川市神居町豊里

昭和40年9月1日設立

豊里保育所は現在、休所中。地区の小学校も廃校になったが、将来子どもが戻って来るかもしれない

いので、市は廃止にせずに残している。

江丹別保育所

旭川市江丹別町中央

昭和 39 年 5 月 1 日

2 年間休止していたが、現在は再開。

豊田保育所

旭川市東旭川町豊田

昭和 40 年 5 月 1 日

米原保育所

旭川市東旭川町米原

昭和 41 年 5 月 1 日

桜岡保育所

旭川市東旭川町東桜岡

昭和 40 年 5 月 1 日

上記 3 ケ所は大雪山に近い山間部にある。

日の出蔵沼保育所

旭川市東旭川町日ノ出

昭和 39 年 5 月 1 日

2) 旭川市立季節保育所

季節保育所 9 カ所は国からの交付金を受けておらず、旭川保育協会が運営している。

雨紛保育所

旭川市神居町雨紛

昭和 40 年 5 月 1 日設立

旭正保育所

旭川市東旭川町旭正

昭和 32 年 5 月 1 日

あすか保育所

旭川市永山町 11 丁目

平成 14 年 4 月 1 日

さくら保育所

旭川市永山町 16 丁目

昭和 32 年 5 月 1 日

嵐山保育所

旭川市江丹別町嵐山

昭和 39 年 5 月 1 日

神居古潭保育所

旭川市神居町神居古潭

昭和 38 年 9 月 1 日

東鷹栖第 2 保育所

旭川市東鷹栖 4 線 18 号

昭和 31 年 5 月 1 日

東鷹栖第 4 保育所

旭川市東鷹栖 9 線 15 号

昭和 32 年 5 月 1 日

千代ヶ岡保育所

旭川市西神楽 3 線 24 号

昭和 53 年 10 月 1 日

3) 旭川市内の保育事業所

①旭川市立保育園 5 ケ所 定員 420 人

1 ケ所を既に民間に移譲。更に 1 ケ所を今年度中に民間移譲の予定。市立保育園は 3 ケ所に減少。

②認可保育園(私立) 56 ケ所 定員 4,381 人

民間の認可施設を増やしているが、待機児童数は減らない。

③認定こども園 2 ケ所 定員 44 人

④私立認可外保育所 30 ケ所 定員 1,123 人

⑤私立認可外保育所 29 ケ所 定員 1,021 人

旭川保育協会が管理しているのが、この私立認可外保育所。

⑥幼稚園 32 ケ所 定員 4,410 人

①～⑥ 計 11,399 人

4) 旭川市認可外保育園・保育所

通年制保育園 14 ケ所 定員 900 人

もともと 17 園あったが 3 園認可保育園に移行。3 割は生活保護家庭もしくは母子家庭で、保育料の免限の対象家庭が多く、保育協会も経営的に厳しい状況にある。

へき地保育所 6 ケ所 定員 40 人

季節保育所 9 ケ所 定員 81 人

旭川市の待機児童数には認可外の保育施設に入所している子は数に入っていない。協会の保育施設は旭川市の待機児童の受け皿になっている。

5) その他、質疑応答

旭川市立の認可保育所待機児童数、協会委託施設運営費等（略）

同市における季節保育所は、「季節保育所設置要綱」（1957年）、「へき地保育所設置要綱」（1961年）などの国の施策を背景に、地域的に会館の設立が契機となって開始された。

その後、「旭川市へき地保育所及び季節保育所条例」（1971年条例第32号）に基づいて設置運営されてきた。保育者不足は慢性的であり、これまでも教員の妻、大卒で無職の人などを頼りにボランティア的要素が強い。所長は80歳代もあり、高齢化。実質的に管理運営にあたっている人たちも高齢化傾向。通年制の園児世帯は母子家庭が多く、結果、園は経営的にも厳しい状況である。新制度にむけて、へき地保育所の多くは休所せざるを得ない。協会は一般財団法人として4月よりスタート。給付型施設として新たな転換点を迎え

る。

5. 総括と課題

旭川市に赴き、季節保育所管理運営に携わってきた団体の事務局長と保育所長に聴き取りすることにより、同市のへき地保育所、季節保育所の設立経緯とその変遷、存在目的や意義の変容が具体的に捉えられた。またそれとともに、新制度がそれらの地域的特性を超えて認可外保育所にも新たな方向性を突きつけている現状が理解できた。それはすべての子どもに質の高い保育を保障する再生となり得るのだろうか。

今年度の総括と次年度にむけての課題は、時代区分によってすでに整理済みである。次年度は、それらの課題をもとに本研究会の目的である日本の保育史（通史）の作成にむけて継続研究の予定である。

（文責 高田文子）

保育実習指導における個人記録の活用方法の検討

子ども学科 松永 静子

子ども学科 市川 奈緒子

保育科 中山 正雄

実習指導センター 主藤 久枝

実習指導センター 酒本 知美

研究の背景と目的

保育士養成における実習とその指導は、学生の成長を支える大きな意義を持つ。そのため、実習の記録の質の向上やその活用は非常に重要であり、養成校における実習指導の課題の1つになっている。また、平成23年度より新保育士養成課程がスタートし、実習の事前事後指導の更なる充実が求められるようになった。そのため、新課程以降、実習の事後指導における自己評価の導入、振り返りの記録の活用などの研究報告がここ数年

増加傾向にある。同様に本学でも保育実習Ⅰ、Ⅱにおける保育所実習および施設実習において実習の個人記録を効果的に活用し、検討し研究する必要があると考えた。

本研究の目的は、本学の実習指導の個人記録の活用として、ポートフォリオの作成について、実習記録を効果的に活用している養成校の視察等を行い、その結果を分析し、養成校における個人記録の活用の在り方を検討するとともに、ポートフォリオ化が学生の自己理解を中心とした成長に